



香取市合併20周年記念式典

KATORICITY 20TH ANNIVERSARY



春



夏



秋



冬

令和8年3月29日
於：香取市佐原文化会館



香取市合併 20 周年記念式典次第

- 1 開式のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 市長式辞
- 4 市議会議長あいさつ
- 5 来賓祝辞
- 6 来賓紹介
- 7 姉妹・友好都市等紹介
- 8 祝電披露
- 9 合併 20 周年記念表彰
- 10 小学生作文コンクール「香取市の未来」入賞者表彰
- 11 アトラクション
 - (1) 香取市プロモーションビデオ上映
 - (2) フォトコンテスト「未来に残したい香取市」
 - (3) 中学生記念合唱（佐原中学校・小見川中学校の合唱部）
♪ぜんぶ（アカペラ）、ふるさと♪
- 12 閉式のことば

香取市長 伊藤 友則



香取市が合併 20 周年という大きな節目を迎えられましたことは、このうえない慶びであり、市民の皆様をはじめ、香取市の発展を支えてくださった多くの皆様に対し、心から感謝を申し上げます。

平成 18 年 3 月 27 日、佐原市・小見川町・山田町・栗源町が一つとなり、香取市は誕生いたしました。この 20 年間、私たちは、それぞれの地域が育んできた歴史や文化を尊重しながら、一体感の醸成と融和に全力で取り組んでまいりました。

振り返りますと、この 20 年間は決して平坦な道のりではありませんでしたが、地震や台風、新型コロナウイルス感染症など、幾多の困難に直面するたびに市民の皆様が手を取り合い、互いに支え合う姿は、香取市が真に一つになった証でもありました。

また、行財政運営においては、人口減少社会等を見据え、たゆまぬ改革を推進することで、次世代に過度な負担を残さない、持続可能なまちづくりを進めてまいりました。

これから、香取市は「成田空港第 2 の開港プロジェクト」を大きな好機と捉え、香取市の発展と、そして次世代を担う子どもたちの笑顔へと続く、大きな希望へと繋げてまいります。

今後も「豊かな暮らしを育む歴史文化・自然の郷」であり続けるために、私たちは合併時の原点を忘れることなく、多様性を尊重し、変化を恐れず、さらなる高みを目指して歩みを進めてまいる所存です。

結びに、これまでの皆様のご支援とご協力に深く敬意を表しますとともに、香取市のさらなる飛躍に向けて、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、合併 20 周年の挨拶といたします。

香取市議会議長 内山 勝己



香取市が合併 20 周年という記念すべき節目を迎えるにあたり、香取市議会を代表し、お祝いのご挨拶を申し上げます。

これまで四つの地域の伝統や文化、地域資源を結集することで、魅力ある香取市が築き上げられてきたことは、歴代市長をはじめ、先人の並々ならぬご努力、そして何よりも市民の皆様のあたたかいご支援と、市政発展に対するたゆまぬご尽力の賜物であり、深甚なる感謝と敬意を表する次第であります。

この 20 年間は、東日本大震災による甚大な被害、新型コロナウイルス感染症の拡大、少子高齢化による人口減少、近年の物価高騰など、自然・社会・経済情勢の各般にわたり、大きな変化の時代でありました。

市議会では、市議会広報の充実、インターネット中継の導入、議員定数削減などの様々な議会改革を進めてまいりました。

現在の広範多岐にわたる課題に直面する中、地方自治体自らが魅力や価値を創造し、持続可能な「香取市」を築いていくため、地域一体となった行政運営が求められています。

二元代表制の一翼を担う市議会といたしましても、時代を見据えたまちづくりを推進し、確かな未来を引き継ぐために、市民の皆様の声をしっかり受けとめ、熟議を重ねて市政の発展に全力で取り組んでまいりますので、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、合併 20 周年を祝し、香取市の更なる発展と、市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの挨拶といたします。

香取市のプロフィール

香取市は、千葉県の北東部に位置し、北部は茨城県と接しています。東京から70km圏にあり、世界への玄関、成田空港から15km圏に位置しています。北部には水郷の風情が漂う利根川が東西に流れ、その流域には水田地帯が広がり、南部は山林と畑を中心とした平坦地で北総台地の一角を占めています。

日本の原風景を感じさせる田園・里山や、水郷筑波国定公園に位置する利根川周辺の自然景観をはじめ、東国三社の一つ「香取神宮」、舟運で栄えた佐原のまちには日本で初めて実測日本地図を作成した「伊能忠敬」の旧宅（国史跡）、江戸時代から昭和初期に建てられた商家や土蔵が現在もその姿を残し、関東地方で初めて「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されるなど、香取市は水と緑に囲まれ、自然・歴史・文化に彩られたまちです。

行事も年間を通して盛んに行われ、4月から5月にかけては小見川城山公園の「水郷おみがわ桜つじまつり」が、6月には約400品種150万本の花菖蒲が咲き誇る水郷佐原あやめパークの「水郷佐原あやめ祭り」が訪れる人の目を楽しませています。7月と10月には佐原囃子の音色に合わせて各町自慢の山車が市内を曳き廻される勇壮絢爛な「佐原の大祭」（国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産）が盛大に開催され、8月には関東でも有数の歴史を誇る「水郷おみがわ花火大会」が開かれます。そのほか、日本一の焼いも広場が人気の「栗源のふるさとイモ祭」や、新緑の里山を彩る「いきいき山田鯉のぼりまつり」、黒部川での「市民レガッタ」、歴史ある町並みの中を走る「小江戸マラソン」など、地域の特性を活かした催しが数多くあります。

産業面では、古くから水郷の早場米産地として知られる米どころであり、また、令和5年市町村別農業産出額全国1位のマッシュルームと全国4位の甘しょは、日本有数の産地となっています。温暖な気候と肥沃な農地に恵まれ、首都圏の食糧生産地の役割を担っています。

市章



美しい水辺の自然、広大な水田と里山の自然、未来に広がる青空を香取市（Katori）の頭文字「K」に重ね、鳥の羽ばたく形にシンボライズ。躍動感ある形は、香取市の美しく雄大な自然と未来への発展を象徴しています。

姉妹・友好都市

- ・兵庫県川西市（姉妹都市）
- ・福島県喜多方市（友好都市）
- ・佐賀県鹿島市（友好都市）
- ・茨城県つくばみらい市（友好都市）
- ・アメリカ合衆国サイパン市（姉妹都市）

小江戸三市

- ・埼玉県川越市
- ・栃木県栃木市

災害時相互応援協定

- ・福島県喜多方市
- ・愛知県安城市
- ・岩手県山田町
- ・兵庫県川西市
- ・佐賀県鹿島市

市の花 アヤメ



市の木 サクラ



市の鳥 ヨシキリ



香取市 20 年の歩み

平成 18 年	3 月	香取市誕生（佐原市・小見川町・山田町・栗源町が合併）	
	4 月	初代市長に宇井成一氏が就任 旧 1 市 3 町 76 人の議員による初議会を開催	
	9 月	香取市合併記念式典を挙行、市章を制定	
平成 19 年	3 月	市の花・木・鳥を制定	
平成 20 年	3 月	香取市総合計画を策定	
平成 21 年	12 月	第 1 回香取小江戸マラソン大会を開催	
平成 22 年	3 月	道の駅・川の駅「水の郷さわら」がオープン	
	7 月	伊能忠敬関係資料 2345 点が国宝指定 兵庫県川西市と姉妹都市協定を締結	
	9 月	千葉国体開幕（市内で 3 競技を開催）	
平成 23 年	3 月	東日本大震災により甚大な被害を受ける 市民憲章制定、香取市まちづくり条例制定	
平成 24 年	7 月	福島県喜多方市と友好都市協定を締結	
平成 25 年	3 月	香取市学校給食センターが完成	
	4 月	小見川市民センター「いぶき館」がオープン	
		第 62 回利根川水系連合水防演習が開催	
平成 26 年	3 月	佐原消防庁舎及び栗源分遣所庁舎が完成	
	11 月	栗源市民センター「さつき館」がオープン	
平成 27 年	9 月	佐原駅前広場が完成	
平成 28 年	3 月	十六島出張所消防庁舎が完成	
	4 月	佐賀県鹿島市と友好都市協定を締結 香取市合併 10 周年記念式典を挙行 香取市など北総四都市、県内初の日本遺産に認定	
	7 月	日本初の自治体連携電力会社「株式会社成田香取エネルギー」を設立	
	12 月	佐原の山車行事がユネスコ世界無形文化遺産に登録	
平成 29 年	4 月	市初の幼保連携型認定こども園「おみがわこども園」を開園 「水郷佐原あやめパーク」がオープン	
平成 30 年	1 月	茨城県つくばみらい市と友好都市協定を締結	
	5 月	伊能忠敬翁没後 200 年記念式典を開催	
平成 31 年	3 月	都市計画道路仁井宿与倉線（3 工区）が開通	
令和元年	4 月	山田小学校が開校 佐原地域に「さわら町屋館」、山田地域に「テラス・サンサン」の 2 集客施設がオープン	
	9 月	香取おみがわ医療センターが開院	
令和 2 年	9・10 月	台風 15・19 号、10 月 25 日の大雨で記録的災害	
	4 月	わらびが丘小学校が開校	
	5 月	新型コロナウイルス感染症対策で独自支援策実施	
令和 3 年	7 月	東京五輪出場のスロバキア共和国カヌースプリントチームが事前キャンプ	
	7・8 月	橋本大輝選手の体操男子金メダルをはじめ、香取市ゆかりの選手が東京五輪で活躍	
	10 月	サイパン市と姉妹都市協定を締結	
令和 4 年	4 月	水の郷小学校が開校	
	5 月	伊藤友則氏が市長に就任	
	12 月	みんなの賑わい交流拠点「コンパス」がオープン	
令和 5 年	4 月	橘ふれあい公園がグランドオープン	
	9 月	香取市乾杯条例制定・施行（香取市地元のもので乾杯を推進する条例）	
	11 月	公立保育所・幼稚園 4 園を統合 佐原グレイスこども園を開園	
令和 6 年	3 月	ゼロカーボンシティ宣言を表明	
	5 月	第 72 回利根川水系連合・総合水防演習が開催	
	10 月	デマンド交通「かとくる」の運行開始 第 14 回全国発酵食品サミット in かとりを開催	
令和 7 年	8 月	大阪・関西万博にブース「発酵県ちば～見る、味わう、体感する～」出展	
	9 月	小見川分署消防庁舎が完成	



香取市開市式



水の郷さわらオープン



いぶき館オープン



さつき館オープン



水郷佐原あやめパークオープン



台風 15 号による被害



コンパスオープン



デマンド交通「かとくる」

香取市合併 20 周年記念表彰者名簿

(順不同・敬称略)

【自治功 労】

23名 1団体

【自治会連合会】

関 謙次郎

【行政相談委員】

久保木 秀夫

【統計調査員】

飯田 みつ枝	伊藤 博和	奥主 旌旗	小倉 新一
香取 みさお	五喜田 重雄	諸徳寺 勝	菅谷 樹雄
鈴木 健夫	鈴木 嘉明	諏訪 正基	高橋 新一郎
故 高橋 太市	高橋 廣重	藤ヶ崎 元孝	藤原 博
保科 康男	間宮 健一	本宮 敏雄	八代 利男
吉野 修			

【国際交流協会】

香取市国際交流協会

【社会福祉功 労】

36名 2団体

【人権擁護委員】

故 圓藤 弘典	田中 量教	林 三和子	宗像 早苗
---------	-------	-------	-------

【保護司】

伊能 孝明	宇津木 勇	川尻 博宣	久保木 明德
栗林 利男	小出 尚義	狐塚 安夫	高橋 義幸
多田 美津子	豊田 益男	布施 裕洋	宗像 克公

【人権擁護委員及び保護司】

篠塚 悦子

【地域自立支援協議会委員】

佐藤 建	竹蓋 伸六	安田 智晴
------	-------	-------

【民生委員・児童委員】

大網 純代	大山 美保子	小澤 しづ子	笠井 幸雄
桑山 暁美	齋賀 宗純	齋藤 和栄	坂本 よし江
笹原 幸江	鈴木 康子	相馬 信彦	高木 勇
高木 永子	田中 三枝子	逸見 譲	

【赤十字奉仕団】

香取市赤十字奉仕団

【寄附】

藤枝 聖司

BEAUTE DE LABO株式会社

【公衆衛生功労】

12名

【健康推進員】

明石 喜美子	伊藤 はつ子	黒田 節子	小浦 紀子
椎名 久子	菅澤 都	鈴木 悦子	高橋 美代子
竹蓋 恵	根本 廣子	松本 牧子	渡邊 房子

【教育文化スポーツ功労】

37名 4団体

【社会教育委員】

浅野 尚	池谷 あつ子	香取 清	木内 新市
永作 成子	八木 和男	山本 一郎	

【文化財保護審議会委員】

岩瀬 繁	木村 修	酒井 右二
------	------	-------

【伊能忠敬記念館協議会委員】

斎木 勝

【スポーツ推進委員】

秋本 亨	畔蒜 健二	飯田 和幸	石毛 仁
鎌形 雅子	日下 伸一	齋藤 春美	笹谷 加代子
佐藤 明美	佐藤 善貞	菅佐原 伸昭	高柴 寿広
高橋 秀彰	田 順光	成毛 利光	藤崎 徳史
宮澤 俊隆	村上 光男		

【水上スポーツ指導員】

伊藤 正博 鎌形 美恵子 向後 典昭 七五三 昌男
菅谷 毅成

【青少年相談員】

金子 浩章 福迫 勝弘

【文化協会】

香取市佐原文化協会
香取市小見川文化協会
香取市山田文化協会
香取市栗源文化協会

【切り絵】

野口 正博

【産業経済功労】

1名 4団体

【消費者協議会】

香取市消費者協議会

【観光振興】

特定非営利活動法人 小野川と佐原の町並みを考える会
特定非営利活動法人 香取市与田浦を考える会

【農業振興】

木内 和義
農事組合法人 新里営農組合

【交通安全・防犯功労】

14名

【交通安全協会】

飯山 初雄	金生谷 富藏	木内 操	島崎 義尚
七五三 和夫	長江 博孝	野口 信正	服部 雅美
林 勇	林 清一	深見 初男	

【防犯パトロール】

鎌形 雅文 木村 博 松本 伸一

香取市合併 20 周年記念作文コンクール

「香取市の未来」入賞者一覧

香取市合併20周年という大きな節目に、
次世代を担う子どもたちの郷土への想いを形に残すため、
作文コンクールを実施しました。

「20 年後の香取市」や「自分自身の夢」をテーマに寄せられた作品は、
総数 347 点。

本誌では、その中から選ばれた入選作品を掲載しました。
子どもたちの目線で語られる、未来への希望が詰まった作品を紹介します。

【最優秀賞】

『未来へ！香取を結ぶ』
小見川中央小学校 5年 高橋 結乃

【優秀賞】

『だいすきなまち』
佐原小学校 1年 柳原 乙葉

『み力ある香取市』
東大戸小学校 4年 朝倉 彩巴

『ぼくがねがう香取市の未来』
竟成小学校 5年 宮崎 蒼汰

【佳作】

『ぼくの大すきなまち』
山田小学校 1年 常世田 絢心

『香取市の未来にのこしたいもの』
北佐原小学校 4年 平野 雄樹

『私の大好きな香取市』
東大戸小学校 5年 中井 愛絢

『香取市の未来について』
栗源小学校 5年 間立 紘生

最優秀賞

未来へ！ 香取を結ぶ

小見川中央小学校 5年 高橋 結乃

わたしは香取市でくらしていますが、今、香取市は合ぺいしてから二十年という大きな節目をむかえています。二十年という時間は、わたしの二倍の長さです。でもそれ以上に香取市の歴史や自然、そして人のつながりは、もっともっと長く、深く、この町に流れています。

香取市には、自まんできる場所がたくさんあります。まず思い出すのは、佐原の町なみです。歴史を感じさせる小野川のほとりには昔の建物が立ちならび、まるで江戸時代にタイムスリップしたような気持ちになります。

もうひとつの自まんは、香取神宮です。木々にかこまれた参道はしんとしていて、歩くだけで心がスーッとします。お正月のおまいりや七五三など、わたしの家族の思い出がいっぱいつまった場所です。日本中から人が来てくれる、大切な香取市の顔です。

わたしの家では、毎日のごはんに香取のお米を食べています。田んぼが広がる風景を見ながら学校へ行くと、四季のうつりかわりを感じることができます。春にはあやめがさいて、夏にはセミの声、秋は金色の田んぼ、冬はカモの群れ。そんな自然がすぐそこにある香取市がわたしは大好きです。

けれど、香取市には、いくつかの課題もあります。人口が少なくなっていること、お店がへっていること、若い人たちが町を出て

いってしまったり保育園や学校もへってきているそうです。「このままだと、毎年楽しみにしているお祭りなどのイベントも少なくなってしまうかもしれない」とわたしは少し心配になりました。

でも、わたしの名前にある「結(むすぶ)」という字には、「人と人、心と心を結ぶやさしい人になってほしい」という、お父さんとお母さんのねがいがこめられています。そんなふうに人と人をつなぐ気持ちがあれば、町も元気になれるんじゃないかと思います。

わたしは、未来の香取市をもっと明るくしたいです。たとえば、子どもがあそべる公園や、いろんな世代が集まれるイベントがふえたらいいなと思います。町のみ力をSNSなどで発信していきながら香取市の良さをもっと多くの人に知ってもらえたら新しい風がふいてくると思います。観光に来た人や引っこしてしてきた人が「香取に来て良かった」と思ってくれたらとてもうれしいです。そんな香取市の未来をわたしは思いえがいています。

二十年後、わたしは三十才になっています。今よりももっとにぎやかであたたかい町になった香取市で子育てをしているかもしれません。わたしは、「結」の名前のように、人と人、町と町、そして未来と今を結んでいけるような人になりたいです。香取市がこれからの二十年先も笑顔とやさしさにあふれた町であるように、自分の手で少しでも関わられたらいいなと思っています。

優 秀 賞

だいすきなまち

佐原小学校 一ねん やなぎはら おとは

わたしは、かとりしに生まれてよかったとおもいました。なぜならたくさんのしぜんや川があって、むかしのまちなみがおおくのこってまつりなどのきせつのぎょうじがあるからです。

たべものもおいしいものがおおくて、とくにかとりしのやさいはおいしいです。わたしはオクラとトマトが大すきなのですが、たべるととてもげんきがでます。

このげんきがでるやさいをたくさんの人にたべてほしいです。

二十ねんごはわたしも二十七さいになっておとなになっていきます。はんざいやこうつうじこのない、あんしんできるまちになってほしいです。あとはこどもたちがいまよりも、もっとたのしくあそべるこうえんがほしいです。みんながわらってたのしいまちになってほしいとねがっています。

優 秀 賞

み力ある香取市

東大戸小学校 四年 朝倉 彩巴

今年の夏休みに伊能忠敬記念館へ行き、伊能忠敬について学びました。実際に昔の方法で測量する体験をしてみて、改めてすごさを実感し、そんな日本のい人が香取市にいたんだと思ってほこらしく思いました。

記念館がある小野川ぞいの町なみは、れきしを感じることができ、なれ親しんでいる風景でもあるので、見ると安心することができ、私の大好きな場所です。

そして、香取市と言えば、全国から見物客がおとずれる佐原の大祭。山車も大きくてすごいです。私は、おはやしを聞くと自然とおどりたくなってしまうくらい大好きです。私の住む地区はお祭りの地区外ですが、お母さんが子どものころは、運動会で全校生徒が佐原ばやしをおどっていたそうです。私もおどりたいと思いました。

自まんの名産物もたくさんあります。お米やサツマイモはもちろん、マッシュルームは日本一をほこります。給食では香取市産のおいしい物を食べることができるので、何が出るか、毎日の楽しみです。

私の家の部屋からは、利根川までずっと続く田園風景と、遠くにつくば山が見えます。

田植えが始まる春には、土のにおい。いねが大きくなり、風でゆれる夏にはカエルの大合唱。黄金色にかがやくいなほになる秋は、もみのにおいの中、バッタが飛び回っています。冬は少しさみしく、つくば山からふく北風がほほをさして痛いくらいです。

このように、田んぼのにおいや風景で四季を感じることが出来ます。

こんなみ力たっぷりの香取市が私は大好きです。これからもずっとこの自然や伝とうを守っていきたいし、全国の人々に香取市の素晴らしさを伝え広めていきたいです。また、香取市のみ力をこれからもっとたくさん見つけ、ふるさとを大事にしていきたいです。

優 秀 賞

ぼくがねがう香取市の未来

竟成小学校 五年 宮崎 そうた

二十年後、ぼくは三十一才の大人になっています。そのころの香取市は、どんな町になっているのでしょうか。未来にはロボットや空を飛ぶ車が行き交い、とても便利になっていることでしょう。でも、ぼくは香取市にはあまり変わらないでいてほしいと思います。なぜなら、大事な思い出がたくさんあるからです。

春になると、おじいちゃんとお父さんといっしょに米作りのために種まきをします。といっても手でまくわけではありません。種まき機を使います。箱がベルトにのって流れていき、土や種や水が順番にかかって、あっという間にできます。まき終わった箱がハウスいっぱいに広がると、すごい量だなとわくわくします。おじいちゃんが、「これがお米に育っていくんだよ。」と話してくれました。

芽がのびてくると田植えをします。田植え機に乗せてもらって後ろを見ると、なえがまっすぐに植えられていきました。「わあ、まっすぐだ、すごい。」と思いました。

秋になると、いよいよいねかりです。コンバインが田んぼの中を走ると、金色のいねがなみのように動き、どんどんかられていきます。次々とお米がふくろに入っていく様子を見ると感動します。

「速い。米だ、米だ。」と何回見ても思います。びっしりとつまったふくろが積まれると、「これで、いっぱいごはんが食べられる。」とこうふんします。

ぼくの家近くには川があり、そこでは、友達といっしょにザリガニつりをします。するめをひもにつけて川に入れると、ザリガニがはさみを動かしながら出てきます。「うまくはさめよ。」とときどきしながら待ちます。上手につり上げられた時は、「やったあ。」と大よろこびです。川にはメダカも泳いでいます。むれで行動している様子はとてもかわいいです。他にはサワガニもいます。小さいカニなので見つけるのもつかまえるのもむずかしいです。「いたあ。」と大きな声を上げて手でつかまえようとすると、カニはす早くにげてしまいます。これまでも、何度もにげられてくやしい思いをしています。やっとつかまえることができると大よろこびです。

佐原の大祭も、ぼくの大事な思い出です。たいこやふえのおはやしがひびき、大きな人形がのった山車が町の中を進む様子にわくわくします。金魚すくいや射的などのお店もならび、そこで遊ぶのもたのしみです。

未来の香取市には、新しい物や便利な物がたくさんできるでしょう。町の様子も変わっていつてしまうかもしれません。でも、おじいちゃんの田んぼや、ザリガニやメダカとふれ合える川、みんなが楽しめる祭は、変わらないでいてほしいです。ぼくが大人になっても、春には種まきや田植え、秋にはいねかりをする生活をくり返していける、自然がゆたかな香取市であるようにねがっています。

佳 作

ぼくの大すきなまち

山田小学校 一年 ところよだ けんしん

ぼくは、みどりがいっぱいこのまちが大すきです。おじいちゃんの家では、いろいろなやさいをそだてています。にわには、レモンやうめ、ブルーベリー、かきの木があって、みんなでとるのがたのしいです。はるには、たけのこもほります。なつは、ホテルがみられます。田んぼのまわりでは、ザリガニやドジョウをつかまえられる。二十年ご、もしぼくがおとうさんになっていたら、ぼくも子どもといっしょにしぜんの中でたくさんあそんだり、たべものをとったりしたいです。

七月には、おまつりがあります。ぼくもお父さんみたいに、おみこしをかついだり、ふえをふいたりしてみたいです。人がへってきて、おみこしをかつぐのがたいへんだときいたので、ぼくもおにいちゃんやおとうととさんかして、おまつりをつづけていけるようにしたいです。

佳 作

香取市の未来にのこしたいもの

北佐原小学校 四年 平野 雄樹

ぼくの家では、お米を作っています。家で作っているお米は、ふっくらしてお米の味がしっかりあって、お米だけで食べてもとてもおいしいです。家族といっしょにぼくもいねかりを手伝っているんで、がんばって作ったお米はやっぱりおいしいなと思います。特に、新米がおいしいのでたくさんの人に食べてほしいです。しょう来、ぼくが大きくなったら、お米を一から全部作ってみたいです。家族みんなで協力しながら、おいしいお米をいつまでものこしていきたいです。ぼくの家周りには田んぼがたくさんあります。田植えをしてだんだんいねが生長してくると青々としたきれいな緑が、いねかりの季節には、いなほの黄金色が辺り一面に広がります。また、夏になると毎ばんのようにかえるの合唱が聞こえてきます。聞いていると落ち着く感じがして良くねむれます。ぼくは、お米がおいしくて、田んぼが辺り一面に広がって空気がおいしいこの香取市が大好きです。

ぼくには、香取市でもう一つ大好きなものがあります。それは、「佐原の大祭」です。佐原ばやしを聞きながら、出店をまわったり、佐原の小江戸のまちなみを散歩したりすることがとても楽しいです。佐原ばやし聞こえてくると、「山車が近づいてきた！」とわくわくします。「佐原の大祭」の山車は、大きくてはく力があり、とてもかっこいいです。この祭りの名物「のの字まわし」は、

男性が力を合わせて山車をのの字にたくさんまわすという、とてもはく力のあるもので、思わず見入ってしまいます。地区によって山車に乗っている人形がちがうので、それを見ながら歩くのも楽しいです。

ぼくは、香取市で大好きなものがこれからもずっとのこっていてほしいです。このままずっと自然があふれていて、お米がおいしく、楽しいお祭りがある香取市がいいです。

佳 作

私の大好きな香取市

東大戸小学校 五年 中井 愛絢

私は今、十才です。まだまだ香取市合併二十周年の半分です。ずっと香取市で育って、自然や人々の優しさ、文化などたくさん良い所がある香取市が大好きです。

昨年の夏、私は佐原の大祭で迷子になってしまいました。とても不安がっぱいで涙が出てしまいました。そこにお祭りの山車をひいていた、お兄さんがお祭りから抜けだして、私に声をかけてくれました。しばらくの間、なぐさめてくれ、私の話を聞いてくれました。そしてお兄さんは遠くにある移動交番に連れていってくれました。交番につくと、にこっと笑ってまた町内の山車にもどっていきました。とても優しい人だな、全く見ず知らずの人でも、こうして私のことを助けてくれたのがとてもうれかったです。

そして私の家の周りにはたくさんの田んぼで自然がいっぱいあります。緑から黄色へ変わるいねはまるでふかふかのじゅうたんみたいです。そして、その周りの水路には青い鳥のカワセミが飛んでいます。桜が開花している時は、香取市のいろいろな所がピンク色になって、とてもキレイです。山のほうを見ると山桜も咲いています。花びらが私の家の周りにひらひらとまい落ちて、とてもキレイです。

そして四年生の時、社会の授業の歴史の勉強で伊能忠敬記念館に行って、伊能忠敬はすごい人だと知りました。そして私は友達に

「こんなにすごい人がいたなんてすごいね」といっしょに話しました。日本中を歩いて今の地図をつくったなんて、香取市の誇りだなと思いました。

また私は張り子のだるまの絵つけをしたことがあります。世界に一つしかない自分のだるまは、とてもかわいく見えました。その時に香取市には昔から張り子のお店があったと教えてくれました。ここで作られた張り子は年賀切手になったこともあると聞いて、私はとてもビックリしました。文化や自然、歴史、そして優しい市民がいっぱいの香取市に生まれて、本当によかったなと思います。

未来の香取市には、すてきな所があることを、たくさん広めて多くの人々に知ってほしいです。水辺にはほたるがたくさん飛んでほしいと思いました。お祭りのお兄さんみたいにこまっている人に声をかけられるような、優しい人がたくさんいる市、未来の市民になる赤ちゃんがたくさん生まれるといいなと思います。そして、私のしょう来の夢、助産師になって、大好きな香取市で助産師のお仕事ができるといいなと思います。

困っている人に声をかけられる優しい人、ニコニコと笑っている人、そして、動物たちが安心してくらせる自然がある香取市、私はとても大好きです。

香取市の未来について

栗源小学校 五年 間立 紘生

わたしは、香取市の未来について考えるにあたり、現ざい、香取市がかかえる問題について調べてみました。様々な問題がありますが、その中でも「少子高れい化」に注目しました。少子高れい化は日本国内で大きな問題となっていますが、香取市でも同じような事が起こっています。二〇二五年の香取市の人口は、約六万八千人ですが、二〇四〇年には、約四万九千人に減少する見こみです。さらに、子どものわり合いも減少することを知りました。このまま人口減少と少子高れい化が進むと、伝統行事の担い手不足や、農家の高れい化など様々な問題が起こると思われます。そこで、少子高れい化問題を解決するためには、移住者を増やすことが必要だと考え、三つの対さくを考えました。

一つ目は、移住したくなるように香取市のみ力を知ってもらうことが必要です。香取市の良い所は、温だんな気候とひよくな農地をいかして、米やいも類の生産や、ちく産などがさかんなところです。その他にも、佐原には、日本地図を作った伊能忠敬のきゅうたくや記念館があり、歴史を学ぶことができます。また、空港に近いので、海外旅行に行きやすいところもあります。これらの良い所を、インスタグラムなどのSNSで発信すれば良いと思います。

二つ目は、自然体験をしてもらうことです。例えば、キャンプや、しゅうかく体験をしてもらうことです。実際に体験すると、楽

しさを感じて、住んでみたいと思ってもらえるでしょう。わたしは、山田にある、たちばなふれあい公園の山の中を探検することが好きです。このような自然に囲まれた香取市を都会の人たちは好きになってくれると思います。

三つ目は移住を考えている人との交流をすることです。わたしは、家の近くにある、トロファームで、毎月行われている、「みんなの食堂」という所に時々行きます。そこでは、子どもからお年より、外国人など、色々な世代の人たちが遊びにきて交流をしています。その主さい者は、東京と栗源の二きょ点生活をしています。このような交流場所があると移住したい人と地元の人との関係も深まり、移住のきっかけになると思います。

このような対さくをすると、移住者が増え、人口減少は改ぜんで
きるのではないのでしょうか。また、ロコミなどで話題になればもっと人口が増えると思います。伝統行事に関心をもっている人なら、その活動を担ってくれる可能性もあります。農業で働きたい人がいれば農家の高れい化も改善できるかもしれません。わかい移住者が増えれば子どもの数も増えるので少子化も解決できると思います。

これらのことをすることで、香取市がより、み力ある豊かな街になると思います。今後、トロファームで移住を考えている人に出会ったら、香取市の良いところを伝えたいです。



香 取 市 民 憲 章

わたくしたちの香取市は、雄大な利根の流れと肥沃な北総台地に育まれ、香取の杜や伝統的な町並みをもつ、豊かな自然と長い歴史のあるまちです。

わたくしたちは、この郷土を愛し、市民協働による住みよいまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 一 水や緑を大切にし、美しいまちをつくります。
- 一 地域の歴史を大切にし、文化の香り高いまちをつくります。
- 一 きまりを守り、平和で安心なまちをつくります。
- 一 ともに学び、ともに働き、活気あふれるまちをつくります。
- 一 お互いに助けあい、笑顔で暮らせるまちをつくります。

平成23年3月27日制定